

- 1. 日時 平成18年7月 7日(金) 2校時
- 2. 学級 2年1・2組 男子 39名 上田中学校体育館
- 3. 主題 球技 「バスケットボール」

4. 主題について

球技は、ボールなどを媒介として、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し得点を取り合って勝敗を競うことをねらいとし、チームの課題や自己の能力に適した課題の解決に取り組んだり、ゲームを楽しんだりする運動である。バスケットボールは、コート内で2つのチームが入り混じって相互に攻防し合い、得点を競いあうゴール型の集団スポーツである。バスケットボールの技術は、ドリブル・パス・シュートなどが、統合され融合したものである。筋力・持久力・調整力をはじめ、多くの運動要素を含んでおり、体力を向上させるものとする。また、現状におけるチームや自分の課題を明らかにし、練習の中で解決を図ること、ゲームから生じた新たな課題を解決するために、チーム内のメンバーと深くかかわり話し合いをすることによって、練習やゲームの仕方を工夫する能力が高まっていくと考える。この能力が球技大会の運営等生涯にわたるスポーツライフの基礎を培うものとする。さらにバスケットボールの特性を知り、チームにおける自分の役割を理解し、その責任を果たし、互いの長所を認め合いながら協力して意欲的に取り組もうとする姿勢を身に付けることにより、仲間同志の信頼関係をはぐくむものとする。そして、この学習を通して身につくだろうルールやマナー、勝敗に対する公正な態度などは、社会生活における望ましい態度や行動にもつながり、人間形成に役立つと考える。

2年1・2組の男子は、保健体育の学習への興味・関心が高い生徒が多く、積極的かつ意欲的に授業に取り組んでいる。しかし、チームとして1つの目標に向かって取り組むことよりも、自分の欲求充足のために活動する生徒も少なくない。授業の初めのアンケートでは、「体育の授業が好き」と答えた生徒が約90%、「バスケットボールが好き」と答えた生徒が約80%であった。また、「バスケットボールのオフェンスが好き」と答えた生徒が約80%であり「シュートをすること、シュートを決めること」をその理由としている生徒が約90%であった。本校では、球技において、3年間バスケットボールを扱っている。1年生では、パス・ドリブル・シュートなどの基本的な個人的技能や速攻・マンツーマンディフェンスなどの集団的技能を中心に学習した。2年生では、既習の技能に加えて、セットオフェンス(ドライブイン、ポストプレー)などの集団的技能を中心に学習する。また、チームごとに、ゲーム 反省(成果と課題) 目標 練習(課題解決)方法 ゲームという流れで、学習を毎時間積み上げてきている。しかし、チームにおける自分の役割を十分理解できないままに動いたり、個々の体力的要素や技能修得の差によって、チーム内の技能のみならず、精神的(感情)なバランスがとれない場面も見られ、教え合いや課題を指摘し合うことが、次の活動に生かされない実態もある。

そこで、指導にあたっては、既習事項を基にしながら、チーム一人一人の能力に応じてポジションや作戦を工夫し合い、チームごとの取り組みに磨きをかけ、練習やゲームのレベルアップを図りたい。そのために、チームのメンバー構成・ポジションの役割の必然性を説きながら、自分達で話し合いをもたせ、理解させていきたい。毎時間の授業で学習したことをよりどころとし、チームのメンバー全員が自分とチームの目標に向かって一生懸命取り組み、勝敗を越えた喜びを味わわせたい。また、最終的には、ゲームの運営も生徒達の手で出来る限り行わせたい。

5. 指導と評価の計画(別紙)

6. 本時の達成目標

運動への関心・意欲・態度	チームにおける自己の役割を自覚して進んで取り組むとともに、健康・安全に留意しながら協力して練習やゲームをしようとしている。
運動についての思考・判断	チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、練習を工夫したり作戦を立てたりしている。
運動の技能	ゾーンディフェンスの攻め方を身に付け、作戦を生かした攻撃を展開してゲームができる。
運動についての知識・理解	バスケットボールの特性や技能、ルールが分かり、練習やゲームに生かしている。

7. 本時の指導の構想

(1) 指導構想及び留意点

本時は6時間目にあたる。オリエンテーションでは、ポジションの説明をした。また、チーム編成の方法を話し合わせ、身長、今までの経験を基に学級内の生徒間の関係も考慮して、教科リーダーが原案を提示し、全員で決定した。準備運動から、チームごとに行わせているが、サーキットトレーニングは、1年生から継続してきた内容を充実させ行っている。ゲーム 反省(成果と課題) 目標 練習(課題解決)方法 ゲームという流れで、授業を展開してきている。チームごとに学習ノートを準備し、授業で行ったミーティングを受けて、その時間の反省と次の時間の目標・練習内容を記入して、授業に臨むことにしている。また、個人の授業記録カードを使い、自分の課題を確認させている。チームのミーティングの中で発言の少ない生徒が自分で記入したことを基に積極的に話し合いに参加させたいと考えているからである。また、キャプテンのミーティングを行い、各チームの情報を交換したり、アドバイスをし合ったりしている。特に、バスケットボール部でないキャプテンには、有効な手立てになっていると考える。

(2) かかわり合いを生かす手だてについて

本時は、チームの練習の始めに、目標・練習内容の確認を、練習の途中とゲームの合間に、実際の動きの確認と修正を行わせ、メンバー一人一人がその作戦の必然性を再認識し、それまでの練習内容(既習内容、ゾーンディフェンスの攻め方)をよりどころとして、メンバーのかかわり合いを生かしながら、目標の達成に導きたい。

段 階	過 程	時 間	学 習 活 動	評価の視点・方法	指導上の留意点	教材・教具等
導 入	課 題 確 認	8 分	1. 意欲的に準備運動をする。 (ダブルダッチ・体操・サーキットトレーニング) 2. 集合・整列し元気よく挨拶をする。 3. 本時の学習課題をチームごとに確認・発表する。 学習課題		1. チームごとにダブルダッチ・体操・サーキットトレーニングをする。ダブルダッチは互いに協力し合い、サーキットトレーニングは各自の回数で行う。 2. 欠席者・見学者の確認をする。 3. 前時の授業の反省を基にした、チームの目標・練習内容(課題解決方法)を全体で確認する。	・ロープ、デジタルタイマー、CD、ピブス ・チームごと6列縦隊 ・学習シート
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> オフェンスの役割を意識して練習しゲームに生かそう。 </div>			
展 開	課 題 追 究	34 分	4. チームごとに練習する。	4. [運動についての思考・判断] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> チームでの自分の役割を意識し、工夫をしながら練習している。 </div> <観察・巡回指導> A: ・自分の役割の十分な理解 ・瞬時の判断 ・友人へのアドバイス C: ・個人が生かされるよう、役割の内容を絞ることを助言していく。	4. 練習計画通り、メンバー全員が作戦を理解して動くことができるよう、時には動きを止めてことばや図で確認する。 ・スクリーンプレー ・ポストプレー ・パス・アンド・ラン ・ドライブイン後の合わせのプレー <A・C・D・F> ・自分のチームの特徴を生かした練習ができているか、巡回しながら助言・指導していく。	・ホワイトボード(各チーム毎)
			5. ゲームを行う。 ・各学級3チームによる勝ち残りゲーム。(1ゲーム2分30秒)	5. [運動の技能] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> チーム・自己の練習を生かしゲームをしている。 </div> <観察・巡回指導> A: ・ディフェンスへの対応 ・友人へのアドバイス C: ・役割の確認及び基本的な動きを、図等を用いて助言していく。	5. 練習したオフェンスをゲームの中でシュートまで結びつけたい。全体で3ゲーム終了したらチームミーティングを行い、動きの修正・確認を行う。 <A・C・D> ・他チームのゲームから学ぶことを助言する。 ・審判を4人で分担して行わせる。	・得点版、デジタルタイマー ・ホワイトボード
終 末	ま と め	8 分	7. 集合・整列し教師の指示で整理運動をする。 8. チームごとに集合し本時の学習を振り返り成果と課題について話し合う。 9. チームのキャプテンが発表する。 10. 挨拶をする。		7. 体全体を簡単にほぐす。 8. チームごとにミーティングを行い、本時の目標・練習内容が有効であったか話し合う。 9. 他のチームの発表から学ぶことを意識させる。	・学習シート ・チームごと6列縦隊

2年 保健体育	単元(題材)名 バスケットボール	総時間 14時間扱い
---------	------------------	------------

学習指導要領の指導事項

バスケットボール

- (1) チームの課題や自己の能力に適した課題を持ってバスケットボールを行い、その技能を身に付け作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。
- (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。
- (3) チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの工夫を工夫することができるようにする。

単元の目標	主な学習活動	評価規準	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
攻防の作戦を立てて勝敗を競い合う過程や結果に楽しさや喜びを味わうことができる。また、自己やチーム一人一人の能力を生かすことができるよう攻防の仕方を工夫するとともに、攻防の作戦に適した集団的・個人的技能を活用できる。	一人一人の個人的技能の習熟を図る。 集団的・技能(ポストプレー、ドライブイン後の合わせのプレー)などチームの特性に応じた攻防の仕方を考え、工夫する。 練習した成果をゲームで確認し、改善点を次の時間の活動へ生かす。	B = 「おおむね満足できると判断される状況」	バスケットボールの特性に気付き、チームの課題を指摘し合い、技能の向上に向けて、仲間と協力しながら安全に気をつけて授業に取り組もうとしている。	チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、練習している。	自己やチームの課題を明らかにし、既習技能の向上に伴う作戦を立て、ゲーム・練習の仕方を工夫しプレーすることができる。	バスケットボールの特性や技能、学び方が分かっている。
		A = 「十分満足できると判断できる状況」の例	バスケットボールの特性に関わる楽しさを理解し、チームの課題を指摘し合い、技能の向上に向けて、仲間と協力しながら安全に気をつけて授業に取り組もうとしている。	チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方を工夫している。	自己やチームの課題を明らかにし、既習技能の向上に伴う作戦を立て、プレーすることができる。	バスケットボールの特性や技能、学び方、ルールが分かり、練習やゲームに生かしている。
		C = 「努力を要すると判断される状況」の生徒への指導の手だての例	バスケットボールの楽しさに触れ、仲間と協力しながら安全に気をつけて授業に取り組むことができるよう個別に指導する。	チームの課題や自己の能力に適した課題を理解させ、解決方法を助言しながら指導する。	基本的な個人技能を身につけ、練習やゲームでプレーできるよう個別に指導する。	バスケットボールの特性や技能、学び方、ルール分かるよう個別に指導する。

次	時	主な達成目標	主な学習活動	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
1	1	既習技能を生かしゲームができる。	オリエンテーション、試しのゲーム	楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとしている。			基本的なルールが分かる。
2	1	個人的技能を把握し、集団的・技能の向上を目指すチーム編成を行うことができる。	チーム編成	自分の技能を積極的に試すとともに公正な態度でチーム編成しようとしている。		ドリブル、シュートの個人的技能を素早く正確にできる。	
3	9 本時6/9	集団的・技能や個人的技能の高まりとの関連を図りながら、味方同士が協力して練習し、作戦を立てゲームを行うことができる。	個人的技能、集団的・技能の向上 チームごとゾーンディフェンスの攻め方を考え、練習しゲームに生かす。	自己の役割を自覚して進んで取り組むとともに、健康安全に留意しながら味方同士が協力して練習やゲームをしようとしている。	チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して練習したり作戦を立てたりしている。	既習技能を生かすことのできる作戦を立て、練習の仕方を工夫しゲームに生かすことができる。	特性や技能、学び方が分かり、ゲームに生かしている。
4	3	個人的技能、集団的・技能を活用したゲームができる。	生徒企画のゲーム	個人的技能、集団的・技能を進んで活用し、味方同士が協力するとともに健康安全に留意しながら、楽しくゲームをしようとしている。	個人的技能、集団的・技能を進んで活用し、チームの課題解決を目指してゲームをしている。	既習技能の向上に伴う作戦を立て、ゲームに生かすことができる。	ゲームを進める上で必要なルールを適用し、協力しながら審判している。